

科目名	心理臨床的援助演習	
担当者	◎山喜 高秀 / 片平 眞理 / 野浪 俊子 / 大島英世 / 小迎 和代	
科目情報	心理臨床<関連> / 選択 / 後期 / 演習 / 2単位 / 2年次	
	集中講義	
科目概要	授業内容	心理臨床的援助は、教育、医療、福祉など、様々な現場でその必要性が年々高まってきている。特に近年は、これまで広く知られている心理療法に加え、音楽療法をはじめとした芸術療法や動物介在療法、さらにはピア・ヘルピングなど応用的心理援助技法が注目されてきている。本授業では、心理臨床の現場で実際行われ、その効果も実証されている、こういった諸技法について、体験的に学習する。
	到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ピアヘルパーについて、その理論とスキルを体験的に学ぶ。</li> <li>・ 動物介在療法（アニマルセラピー）について、その理論とスキルを体験的に学ぶ。</li> <li>・ 音楽療法について、その理論とスキルを体験的に学ぶ。</li> </ul>
授業計画	(1) ピアヘルパーのためのカウンセリング概論 (2) 構成的エンカウンター (3) カウンセリング理論 (4) カウンセリングの言語的技法とロールプレイ (5) カウンセリングの非言語的技法とロールプレイ (6) 青年期の課題とピアヘルパーの留意点 (7) 動物介在療法（アニマルセラピー）の理論 ① (8) 動物介在療法（アニマルセラピー）の理論 ② (9) 動物介在療法（アニマルセラピー）の体験的学習 ① (10) 動物介在療法（アニマルセラピー）の体験的学習 ② (11) 音楽療法の理論 ① (12) 音楽療法の理論 ② (13) 音楽療法の体験的学習 ① (14) 音楽療法の体験的学習 ② (15) 総まとめ	
自学自習	事前学習	・「使用教材・参考文献」を前もって読んでおくこと。
	事後学習	・学習した内容を今後の学生生活や進路選択に役立てること。
使用教材 参考文献	【教】『ピアヘルパーハンドブック』日本教育カウンセラー協会 図書文化	
成績評価方法 と基準	<基準>心理臨床的援助に関して、講義の到達目標の3項目の理解修得が達成されたものを合格とする。 <方法>受講態度（40%）総括レポート（60%）	
備考		